

全国通訳案内士のためのプレミア・ガイド育成プログラムの参加者募集について

(趣旨)

2022年以降のポストコロナ時代において、インバウンドの再活性化が予想され、近年、政府及び旅行会社において、富裕層の来日客に対応できるレベルの高い観光ガイドの育成の必要性が言われています。

上質なインバウンド観光サービス創出に向けた観光戦略検討委員会」の資料によると、「富裕旅行者は、欧米豪5か国と中国だけでも、全体の1.0%の旅行者で消費全体の11.5%を占める。」と報告されています。富裕層のなかには、1日の消費額が数百万円から1千万円を超える人も少なくありません。

しかし、こうしたなかで、以下の発言のとおり、検討委員会委員からも富裕層に対応できる通訳案内士の不足が問題となっています。(参考資料)

- ・ 富裕層の知的好奇心・探求心に応えられるような、幅広い分野で高い専門性を備えて説明できる人、本人が伝えられなくても翻訳して伝えていく人材が必要。
- ・ ガイド育成方法は変えていくべき。
- ・ 語学だけでなく、教養があり、相手の教養レベルを汲んで組み立てられるガイドが必要。多様な方を育てる仕組みが必要。

実際、富裕層のお客様を扱う旅行会社やホテルコンシェルジュからは、本当に優秀なガイドであれば、1日の謝金が10万円であっても高くないとの声も寄せられています。

と同時に、そうした「優秀なガイドがどこにいるかわからない」、「客観的な基準がない」とも言われています。

2000～2010年代を振り返ると、日本の全国案内士(以下、「通訳案内士」という)の謝金の水準は、1日あたり2万円前後から3万円程度と、低い金額で推移しました。また、ガイドからは、努力し、優秀なガイドであっても、プラスアルファを出してくれる会社が少ないとの声も寄せられています。

そこで、「プレミア・ガイドにふさわしいパフォーマンス」により、「富裕層の知的好奇心・探求心に応えられるような、幅広い分野で高い専門性」を有するガイドを育成するとともに、実際業務でも評価が活用される仕組みを構築していくため、本制度を提案します。

第1 プレミア・ガイド育成プログラムの概要

1 主催等

主催者(共催)

- ・特定非営利活動法人日本文化体験交流塾(IJCEE)
- ・特定非営利活動法人通訳ガイド&コミュニケーション・スキル研究会(GICSS)

協賛

- ・富士の国やまなし通訳案内士会

2 プレミア・ガイドとは

(1) プレミア・ガイドに求められる以下の要素をバランスよく有していること

観光庁講師養成研修の指導員、1級認定者は、以下のいくつかの項目で高い評価を得ているので、わが国のプレミア・ガイドの中核的なメンバーとして、期待されます。

	項目	説明
1	顧客ニーズの把握	お客様の求めるサービスを理解する力。お客様の求めるものを聞き出す力。さらに「先取りする力」。
2	幅広くかつ深い知識・教養・編集力	ハイ・インテリジェンスの顧客に対応できる幅広い知識。欧米の歴史や宗教・思考方法等を踏まえて、説明できる知識。
3	問題解決力	お客様の求めるサービスを実現するための企画力・提案力(旅程・レストラン・ホテル・アクティビティの組み合わせ)。
4	語学力	お客様の言語で十分なコミュニケーションができる語学スキル。
5	表現力・お客様対応力	服装や身のこなし。エンターティナーとしてパフォーマンス力。ウィットとユーモアで楽しませる力。
6	観光ビジネススキル	観光ビジネスへの理解。

(2) 認定

富裕層・VIPに対応できるガイドとして、以下の評価を認定します。通常のガイド料を打ち破れるガイドを育成することにより、長期的には、ガイド料金全体の引き上げを図るよう努めます。

ランク	エージェントに対する1日の最低ガイド料金	ガイドへの支払い額
★★★	10万円払っても雇う価値があるガイド	紹介あっせん料は、2割以内とする。
★★	7万円払っても雇う価値があるガイド	
★	5万円払っても雇う価値があるガイド	

(3) 認定試験の評価委員 14名～21名程度

- ・旅行会社からは、大手外資系会社4社及び大手日本の旅行会社4社
- ・ホテルコンシェルジュ
- ・プレミアム・ガイド育成プログラム講師
- ・企業家、元大使、元公使など
- ・通訳案内士団体代表・役員

評価委員に、旅行会社やホテルコンシェルジュに依頼することで、その評価の信頼性を高めます。これにより、与えられた評価による通訳案内士の採用に直結するようにアピールしていきます。

なお、主催団体の関連団体である True Japan Tour 株式会社及び株式会社ランデルズが旅行会社・ツアーオペレーター&人材派遣会社であることから、上記評価を実務面で、継続的に実施するように、努めます。

したがって、本プレミアム・ガイド育成プログラムは、研修にとどまらず、研修の出口戦略も明確にして実施します。

(4) 認定証等

認定は、「プレミアム・ガイド★★★★、★★、★、1級、2級等」の5段階です。受講者全員に、それぞれの認定証を付与します。

プレミアム・ガイドとして、★★★★、★★、★を認定した者には、認定証とランクごとのバッジ(金色、銀色、銅色)を付与します。

3 定員・応募資格

プレミアム・ガイド・育成プログラムの参加者(以下、「プレミアム・ガイド・メンバー(PGM)という)は、42名以下とし、以下の条件を満たす者とする。

- ① 2017年度(2018年2月の合格発表)以前に実施した国家試験の合格者であること。
- ② 通訳ガイドの実務経験が通算で80日以上を有すること(ボランティアガイドは除く)
- ③ 観光庁講師養成研修の指導員、1級認定者は、評価面で加点されます。
- ④ 別紙応募用紙にて、応募された方のうち、選考会議で承認された方

4 受講料 (消費税込み)

	区分	受講料
「プレミアム・ガイド・メンバー」(PGM) (定員 42名)	NPO 日本文化体験交流塾及び GICSS 研究会会員	10万円
	2020年観光庁事業「講師養成研修」における指導員及び1級認定講師	10万円
	協賛団体の会員	11万円
	その他の一般全国通訳案内士	12万円

5 募集スケジュール

プレミア・ガイド育成プログラムの参加者募集日程は以下のとおりです。(定員 42 名)

- | | |
|-------------|--------------------|
| ① 募集開始 | 2021 年 2 月 22 日(月) |
| ② 応募締め切り | 2021 年 2 月 28 日(日) |
| ③ 受講者への決定通知 | 2021 年 3 月 3 日(水) |

6 受講方法は、以下の3つの手段で受講できます。

- ① 座学（教室、双方向（質疑応答／発表）リアルタイム）
- ② Zoom による聴講（リモート、双方向（質疑応答／発表）リアルタイム）
- ③ Eラーニング（収録した授業のオンラインによる視聴。実施日の5営業日以降に視聴が可能です。一部パフォーマンス系科目はEラーニングに含まれません。）

7 プレミア・ガイド・メンバーによる自主活動の支援

プレミア・ガイドにとっては、何よりも自らが上質な体験を積み重ねることが必要であります。また、知識をさらに深めたり、富裕層にわかりやすく説明するスピーチ力も必要です。これらは、受け身の受講のみでなく、受講者の積極的な活動から得られるものであります。

したがって、プレミア・ガイド・メンバーは、様々な活動に自主的に参加することができます。

① 事務局主催

- ・ 5つ星ホテルの見学会(事務局主催で3回程度実施予定)
- ・ 歌舞伎等の観劇会(有料)

② プレミア・ガイド・メンバーの発案

以下のようなイベントを受講者から提案があった場合、事務局において、周知メールを発信します。

また、ミーティングの会場等についても、可能な限り無料で提供する。

- ・ 関連したテーマについての、自主研究会・意見交換会
- ・ 美術館・博物館の見学会
- ・ 講演会・イベント等の参加等
- ・ サークル活動
- ・ プレミア・ガイド・メンバーによる交流会

8 研修のカリキュラム

日	日程	テーマ	メイン講師	備考 課題図書/参考文献等	紹介頁
1	3月8日 (月)	日本の宗教	松山大耕	・「ビジネス ZEN 入門」(講談社)、 ・鈴木大拙「禅と日本文化」	7p
2	3月9日 (火)	舞台芸術	高木秀樹	歌舞伎、能、狂言	9P
3	3月10日 (水)	美術工芸	小澤弘	辻惟雄監修『増補新装 カラー版日本美術史』美術出版 佐藤康宏『日本美術史 改訂版』放送大学教育振興会 山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』美術出版ラブラリー 青柳正則・河野元昭ほか編『日本美術館』小学館 TAKASHINA Shūji “The Japanese Sense of Beauty” JAPAN LIBRARY	11p
4	3月21日 (日)	産業・社会 家庭・暮らし	野崎亮 村上堅治	「人口と日本経済」(吉川洋著、中公新書) ・「シン・ニホン」安宅和人著 NewsPicks パブリッシング ・「なぜ日本の「正しさ」は世界に伝わらないのか」柴原響子著 ウェッジ	13p
5	3月22日 (月)	日本の歴史	リチャード・デラ	西洋など世界の中でとらえる日本の歴史	15p
6	3月23日 (火)	米と和食の文化史	原田信男	・原田信男『和食とはなにか』(角川ソフィア文庫)、 ・原田信男『歴史のなかの米と肉』(平凡社ライブラリー)、 ・原田信男『江戸の料理史』(中公新書)、 ・『江戸の食生活』(岩波現代文庫)など ・森下典子『日々是好日』(新潮文庫)	17p

7	3月24日 (水)	日本建築の歴史	波多野純	・太田博太郎『日本建築史序説』 ・日本建築学会『日本建築史図集』 ・西和夫・穂積和夫『日本建築のかたち』	19p
8	4月22日 (木)	プレミアム・ガイドにふさわしいパフォーマンスを身につける研修	ランデル洋子	話術/顧客ニーズ/客の求めるガイド像/服装/身のこなし、マナー、話し方/国際儀礼プロトコール/外交視点からみた接遇の心得等	21p
9	4月23日 (金)		松岡明子 三好凜佳 大川まりこ 寺西千代子 角 茂樹ほか		
10	8月17日 (火)	課題発表 プレゼンテーション	総合司会 米原亮三	・各自10分の英語によるプレゼンテーション ・10分間の質疑(日本語)	26p
11	8月18日 (水)				
12	8月19日 (木)				
13	2月13日 (日)	認定試験①	筆記試験		28p
14	2月14日 (月)	認定試験②	総合試験 「プレミアム・ガイド・メンバー」 (PGM)交流会	VIP に対するお迎え、観光案内、レストランで対応などのパフォーマンスで 総合力を評価	28p

第1日 3月8日(月)「プログラム紹介と日本の宗教」

	時間	講師	内容
1限	9:15～10:45	米原亮三	開校式 全体プログラムの紹介 受講生の自己紹介
2限	11:00～12:30	米原亮三	宗教についての質疑及び意見交換会 ・自主研究課題の検討
	昼食休憩		
3限	13:30～15:00	松山大耕	禅宗①
4限	15:15～16:45	松山大耕	禅宗②

<講義要旨>

禅宗①及び禅宗②

ZEN。今や世界共通語となった禅はインドに生まれ、中国を経て、約千年前に日本にやってきました。私たち日本人の生活に身近な言葉や文化にも深く影響を与えています。海外からの興味や関心も高いとは思いますが、改めて説明するのは大変難しいのが実情です。本講義では、禅とは何か、どういう特徴があるのか、他の宗教や宗派とどのような違いがあるのか、日本の文化にどういった影響を与えてきたのか。なるべく平易な言葉を使いながら、基本的なことからわかりやすく解説していきます。

課題図書

- ・「ビジネス ZEN 入門」(講談社)、
- ・鈴木大拙「禅と日本文化」(岩波書店ほか)

講師紹介

<p>松山大耕</p>	<p>1978年京都市生まれ。2003年東京大学大学院 農学生命科学研究科修了。埼玉県新座市・平林寺にて3年半の修行生活を送った後、2007年より退蔵院副住職。日本文化の発信・交流が高く評価され、2009年観光庁 Visit Japan 大使に任命される。また、2011年より京都市「京都観光おもてなし大使」。2016年『日経ビジネス』誌の「次代を創る100人」に選出され、同年より「日米リーダーシッププログラム」フェローに就任。2018年より米・スタンフォード大客員講師。2019年文化庁長官表彰(文化庁)、重光賞(ボストン日本協会)受賞。</p> <p>2011年には、日本の禅宗を代表してヴァチカンで前ローマ教皇に謁見、2014年には日本の若手宗教家を代表してダライ・ラマ14世と会談し、世界のさまざまな宗教家・リーダーと交流。また、世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)に出席するなど、世界各国で宗教の垣根を超えて活動中。『大事なことから忘れなさい～迷える心に効く三十の禅の教え～』(世界文化社、2014年)『京都、禅の庭めぐり』(PHP、2016年)『ビジネスZEN入門』(講談社新書、2016年)</p>
<p>米原亮三</p>	<p>1976年東京大学経済学部卒。都庁にて、都知事秘書、観光部部長等 NPO 日本文化体験交流塾理事長。True Japan Tour(株)代表取締役社長、観光庁「新たな通訳案内士制度のあり方に関する検討会」委員等</p> <p>著書・論文:「ネットワーク時代の地球市民の生き方」(中央経済社)、「東京都 多様性に満ちた市民社会」(駒井洋、渡戸一郎編「自治体の外国人政策」明石書店所収)、米国コネチカット州グリニッチ・タウンの地方自治(都市問題86巻87巻1号)、「大都市における観光まちづくりの理論的な考察」(日本国際観光学会論文Vol. 14)、「観光キーワード事典」(松陰大学観光文化研究センター編)、「国際観光ガイドの基礎知識」編著、Japanese Culture I、II、III(以上、NPO 日本文化体験交流塾)</p>



第2日 3月9日(火)「日本の舞台芸術の魅力」

	時間	講師	内 容
1 限	9:15～9:55	山口和加子	通訳案内士にとっての日本の舞台美術
2 限	10:00～12:00	高木秀樹	①舞台芸術 「歌舞伎・文楽・能」の歴史と概要
	昼食休憩		
3 限	13:00～15:00	高木秀樹	②舞台芸術 「歌舞伎・文楽・能」作品の詳細
4 限	15:15～16:45	山口和加子	質疑及び意見交換会 ・自主研究課題の検討

<講義要旨>

受講生の皆様は外国からのお客様をお相手にしていらっしゃると思いますね。

日本文化の素晴らしさ特徴といったところを古典芸能の面からご案内します

①舞台芸術

歌舞伎・文楽・能」の歴史と概要です。

日本の伝統芸能は作者が全て創造したものはありません。まず伝説や歴史があり それが芸能化しました。つまり「歌舞伎・文楽・能」は歴史や伝説のパロディなのです

著名な「道成寺伝説」などを取り上げ各芸能の特徴をご説明します

②舞台芸術

最も古いのが室町時代に出来た能で江戸時代には文楽や歌舞伎になります。平安末期に実在した俊寛僧都の逸話は先ず『平家物語』に描かれました。それが室町期に能となり江戸期には文楽や歌舞伎劇となりました。文楽で俊寛を描いたのは名作者の近松門左衛門で近代的な人間描写です

推薦図書(山口和加子氏)

①Donald Keene 著 “No and Bunraku”

(Columbia University Press, 1990)

ドナルド・キーン 日本文学研究の第一人者・コロンビア大学名誉教授

②Takashina Shuji 著 “The Japanese Sense of Beauty”

(Japan Publishing Industry Foundation for Culture, 2015)

高階秀爾：美術史家、東京大学文学部名誉教授、大原美術館館長

③edited by James R. Brandon 編：“No and Kyogen in the Contemporary World”

(University of Hawai’ I Press, 1997) James R. Brandon 歌舞伎研究家・ハワイ大学教授

- ④Kawatake Toshio 著 “Kabuki ” (i-House Press, 2006)
 河竹登志夫：文学博士。共立女子大学教授、ウィーン大学客員教授などを歴任、
 日本演劇学会会長、日本演劇協会会長、日本比較文学界会長など。
- ⑤青山昌文著：『美学・芸術学研究』（放送大学教育振興会、2013）
 青山昌文：美学、芸術学、哲学研究者。放送大学教授
- ⑥ ムムム、文楽チャンネル You tube （高木秀樹先生ご出演）

講師紹介

<p>高木秀樹</p>	<p>歌舞伎・文楽の同時解説放送「イヤホンガイド」の解説者。 歌舞伎・日本舞踊の制作に携わる。大学講師。 NHK 教育テレビ『文楽鑑賞入門』講師担当。 NHK 文化センターで歌舞伎と文楽の講座を担当。 著書に『あらすじで読む名作文楽 50 選』（世界文化社）。 『文楽手帖』（角川文庫）あり。</p>
<p>山口和加子</p>	<p>NNPO 法人日本文化体験交流塾(IJCEE)副理事長。通訳案内士(英語)。東京都内定期観光(はとバス)英語ガイドの第一人者。2020 年観光庁研修指導員 FIT. VIP. MICE などの通訳ガイド経験豊富。茶道宗徧流、裏千家を学び、表千家茶道同好会メンバー。国際茶道塾を設立、塾長を務めている。毎日書道展 10 年連続入選、会友。温故流花道師範（花名：温和斎登加）。2019 年外務省「日本ブランド発信事業」の日本文化専門家として、中東三カ国（サウジアラビア・トルコ・ヨルダン）に派遣される。短歌「ポトナム」同人。共著「通訳案内士ハンドブック」「口述試験ハンドブック」「国際観光ガイドの基礎知識」合同歌集「萩の道」など。</p>



第3日 3月10日(水)

「日本の美術工芸—特質とそれを創出した社会構造」

	時 間	講 師	内 容
1 限	9:15～9:50	黒石陽子	美術工芸についての外国人の質問など、課題の整理
2 限	10:00～12:00	小澤弘	美術工芸① 美術工芸とは、古代から近世へ
	昼食休憩		
3 限	13:00～15:00	小澤弘	美術工芸② 近世から近代へ、伝統工芸の現在
4 限	15:15～16:45	黒石陽子	・質疑及び意見交換会 ・欧米人からみた日本美術の読み解き方、特に欧米同時代文化と類似点、相互影響を考察 ・自主研究課題の検討

<講義要旨>

◎小澤弘氏

日本の美術工芸をテーマに、歴史的な意義と特質について時代を追って紹介、その創出にかかわる社会基盤や技術革新などについて論じる。「美術工芸」の定義から始め、創作に関わる技術や工夫、意匠などに言及。

各論に、日本の絵巻（絵と詞）、日常風景や四季・名所の表現、和紙、錦絵、金箔・漆芸・螺鈿装飾、鑄造、木工・金工、刀剣、寄木造、陶磁器柄図細工、染織、近世手工芸の分業化、狩野家の家元制と画壇の独占、尾形光琳の京鷹ヶ峰の芸術村、各藩の殖産興業策による美術工芸品生産、明治維新の産業革命による工業制手工業への展開、パリ万博覧や内国博・物産会への美術工芸品の出陳、近代の新版画の国際市場への展開などについて触れる。

参考図書

辻惟雄監修『増補新装 カラー版日本美術史』美術出版 2,090 円

佐藤康宏『日本美術史 改訂版』放送大学教育振興会 7,840 円

山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』美術出版ラブラリー3,080 円

青柳正則・河野元昭ほか編『日本美術館』小学館 16,500 円

TAKASHINA Shūji “The Japanese Sense of Beauty” JAPAN LIBRARY 2,970 円


◎黒石陽子氏

参考図書	「日本美術の歴史」	辻惟雄	東京大学出版会
	「日本美術史」	山下裕二・高岸輝監修	美術出版社
	「日本美術の底力」	山下裕二	NHK 出版新書
	「利休にたずねよ」	山本兼一	PHP 研究所

(自主研修の課題例)

- ・浮世絵にみられる西欧の影響とジャポニスム
- ・奈良・京都・鎌倉の仏像/定朝・運慶の特徴
- ・喫茶から茶の湯の系譜/最澄・栄西・義満、義政の会所、同朋衆・利休・織部・遠州の道具・キリシタンの影響
- ・400年の美、絵師集団狩野派の戦略
- ・日本の芸術はデジタルインフォメーションなしの拡張現実AR(能舞台・水墨画・枯山水)
- ・心は一線を越えて遊ぶ/トランスワールド・トランスジェンダー(歌舞伎・能・土佐日記)

講師紹介

小澤弘	<p>東京都江戸東京博物館名誉研究員・淑徳大学人文学部客員教授</p> <p>1947年生まれ。調布学園女子短期大学教授を経て、2014年3月まで江戸東京博物館都市歴史研究室長・教授として調査研究事業を推進した。東京都伝統工芸品産業振興協議会会長、東京都中小企業振興公社「東京手仕事」プロジェクト統括アドバイザー、東京国立博物館協力会評議員、国立科学博物館外部評価委員、国際浮世絵学会常任理事などをつとめる。専門は日本芸術文化史。都市風俗図や浮世絵、大名文化人などの研究を行う。タイ・バンコクの「日本のデザイン遺伝子展」、モナコの「京都-東京～サムライからマンガまで展」の共同監修者、ボストン美術館浮世絵の国際調査メンバーなど、内外の美術作品や文化史資料の調査研究も行う。著書に『都市図の系譜と江戸』など、共編著に『日本庶民生活史料集成第30巻―諸職風俗図絵―』『図説 江戸図屏風をよむ』『ビジュアルワイド江戸時代館』など、共著に『「熙代勝覧」の日本橋』『江戸のかたち』“The Kidai-Shōran Scroll” (JAPAN LIBRARY)ほか多数。</p>
黒石陽子	<p>英語通訳案内士。(通訳案内士新人研修講師) NPO 日本文化体験交流塾(IJCEE)理事。</p> <p>2007年合格。2020年観光庁研修指導員</p> <p>夫の転勤に伴うアメリカ在住時代は、小学校で手作り紙芝居のLunchtime teacher, 「学校一日 Japan Day!」などボランティアを通して日本文化を広めた。今も続く工夫とユーモアで本業でも好評をもらっている。考古学者と行く知識層の縄文遺跡ツアー、博物館ツアーなどSITを得意とし、高い評価を得ている。</p> <p>全国の観光地のガイド経験を有し、知識の広さ、判断力、顧客への配慮でトップレベルのスルーガイドとVIPガイドの双方をこなす。</p> <p>岩手県、千葉県等多数の講師経験を有する。趣味は美術館めぐり。お寺の美術品観賞。</p> 

第4日 3月21日(日) 現代(先端産業・近代技術・家庭・暮らし・結婚・教育)

	時間	講師	内容
1限	9:15～10:45	野崎亮	①現代 富裕層と日本経済
2限	11:00～12:30	村上堅治	②現代 社会
	昼食休憩		
3限	13:30～15:00	野崎亮	③現代 日本と隣国の関係
4限	15:15～16:45	村上堅治	④現代 経済 質疑及び意見交換会 ・自主研究課題の検討

<講義要旨>

①現代及び③現代

「富裕層の訪日客と語る『今の日本』」

富裕層の訪日客は、ガイドに何を求めているのでしょうか。

当然、日本文化や歴史の充実した解説を期待しているでしょうが、それにとどまらず、日本経済や隣国との関係など幅広い分野の「今の日本」について、ガイドに一人の日本人としての考えを聞いてみたいと思っているのではないのでしょうか。

顧客にとって実りのある対話をして、旅を共にして良かったと一目置かれるようにするには、日本の現状についての深い洞察を求められます。やはり、普段からの準備は必要です。その一助になればと考えています。

② 現代

・日本の街がきれいな理由（神道、仏教の影響、学校教育制度の影響からくる日本人のメンタリティーも説明しながらの考察）

・少子高齢化問題（現状の確認、今後の日本像に関する考察）

・日本の女性社会進出問題の説明（世界の国々との現状比較、その背景にある日本社会の女性進出に対する旧来の考え方、配偶者控除制度も含めた社会制度の説明。）

④ 現代

・戦後の日本経済発展の変遷（復興期、高度成長期、安定成長期、低成長時に分けて説明）

・日本の金融制度の現状と今後の展望（現在の金融制度の概略説明、フィンテックが金融業界に及ぼす影響、ビットコインや銀行制度を介さない決済制度の今後の影響について。）

・(時間が許せば) 世界の基軸通貨の変遷と今後の予想。基軸通貨となるための条件を歴史から考察する)

課題図書

- ① 「シン・ニホン」安宅和人著 NewsPicks パブリッシング
- ② 「なぜ日本の「正しさ」は世界に伝わらないのか」栗原響子著 ウェッジ

講師紹介

<p>野崎亮</p>	<p>共同通信社の記者。1980年生まれ。慶応義塾大学法学部政治学科卒 共同通信社では、経済部で、財務省、経済産業省、外務省、国土交通省（観光庁を中心）、日銀（保険業界を中心）、証券、流通、電気・機械などを取材。 現在は、海外経済を担当。 共著「海の向こうの被爆者たち」八月書館で、平和共同ジャーナリスト基金奨励賞受賞。 「食再発見・変化の形」PHPなど。 資格 全国通訳案内士（英語、韓国語）中国語の漢語水平考試（HSK）6級</p>
<p>村上堅治</p>	<p>英語全国通訳案内士。NPO 日本文化体験交流塾(IJCEE)理事。2015年合格。 2020年観光庁研修指導員。 大阪大学外国語学部英文科卒業。英国・エジンバラ大学院卒業(MBA)、 大手金融グループの国際部門で40年間勤務した経験を持つ金融・経済の専門家。 英国、上海での駐在経験に加え、MBA資格も持つ 理論と実務に通じた国際人。 米国の知識層専用のロングツアー 「グランドサークル」で、トップガイドとして活躍している。また、全国通訳案内士予備校 (True Japan School)では、模擬面接官、 英語Basicコース講師など、語学指導面でも優れた業績を有している。</p>



第5日 3月22日(月) 「西洋など世界のなかでとらえる日本歴史」

	時間	講師	内容
1限	9:15～10:45	リチャード・デラ	①日本歴史 「天皇と将軍の関わり方」
2限	11:00～12:30	リチャード・デラ	②日本歴史 「武士道 VS 騎士道」
	昼食休憩		
3限	13:30～15:00	リチャード・デラ	③日本歴史 「明治維新の意義と限界」
4限	15:15～16:45	池津敦子	限られた時間でお客様に伝える工夫 質疑及び意見交換会 ・自主研究課題の検討

<講義要旨>

講師紹介

リチャード・デラ	<p>近畿大学 総合社会学部 教養・基礎教育部門準教授。修士（ハーバード大学大学院）</p> <p>日本での滞在生活は25年に及び、日本史、教育、言語学の研究に従事され、日本語も堪能で大学では日本史の教鞭を取られている。穏やかで包容力のある人柄も魅力である。</p> <p>◆博士論文：Teaching communities of practice, national trends, and a private Japanese high school 教員免許取得要件、人口動態、大学推薦入試システムの変化が、日本の私立高等学校の教師に与える影響を考察する論文。 Temple University (テンプル大学)</p> <p>◆関西学院大学にて、兵庫県教育委員会より教員免許を取得。</p> <p>◆修士論文：Reinvesting human capital: The continuous social role of private academies from the Tokugawa Period to the Meiji Period (人的資本の再投資：徳川時代から明治時代にかけて私立学校が果たし続けた社会的役割) 徳川時代の懐徳堂、明治時代の同志社大学といった私立学校が、権利を剥奪された階級の一部が社会における自らの価値を見いだすことにどのように役立ったかについて考察する論文。</p> <p>Harvard University Graduate School of Arts and Sciences (ハーバード大学大学院)</p>
----------	--

	<p>◆修士論文： What happens when history is taught from a non-U.S. Perspective in an American classroom? (米国での授業において、米国以外の視点から見た歴史教育を行った場合に何が起こるか?) 日本と米国の歴史教科書から、同じトピックを説明するためにそれぞれ選ばれている図像について、およびそれらが本文の内容に対する生徒の認識にどのように影響するかを考察する論文。(ボストンカレッジ大学院教育学研究科)</p> <p>◆刊行物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Derrah, R.、Rowe, D.E. (2014年) Validating the Japanese bilingual version of the vocabulary size test International Journal of Languages, Literature, and Linguistics。。 ・ Rylander, J.、Collins, B.、Derrah, R.、Ferguson, P.、D' Andrea, J. (2014年)。Instructional pragmatics in the Japanese context 全国語学教育学会(JALT)第39回年次国際大会発表記録集(兵庫県神戸市)。 ・ Derrah, R. (2013年)。Looking back: The ministry of finance and nonproductive loans (回想: 財務省と不良債権)。Journal of Policy Studies、(45)、1-4.ほか
<p>池津敦子</p>	<p>NPO 日本文化体験交流塾理事、英語・フランス語全国通訳案内士。2020年観光庁研修指導員</p> <p>全国を巡るスルーガイドとして、国内外の旅行会社から高い評価を得るとともに、日本文化講師としても活躍する。</p> <p>新潟県通訳ガイド力強化研修講師、及び同ガイド用テキスト作成を担当。埼玉県グローバルキャンプ埼玉講師、千葉県ボランティアガイド養成講座講師。</p> <p>東京都、岩手県、新潟県、奈良県等多数の自治体で講師として、人材育成に努めている。2018年観光庁研修「通訳案内の実務」で講師を務めた。</p> <p>著書 Japanese Culture I (NPO 日本文化体験交流塾)</p> 

第6日 3月23日(火) 「米と和食の文化史」

	時間	担当	内容
1限	9:15～10:45	伊藤映子	外国語による表現など通訳案内士 にとっての課題の整理(食文化・茶 道・着物)
2限	11:00～12:30	原田信男	①米と和食の文化史 ・食の原論 ・食の歴史(中世まで)
	昼食休憩		
3限	13:30～15:00	原田信男	②米と和食の文化史 ・食の歴史(近世から近現代まで)
4限	15:15～16:45	伊藤映子	質疑及び意見交換会 ・自主研究課題の検討

<講義要旨>

① 米と和食の文化史(第1講)

まず食とは何か、日本とは何か、を考えた上で、世界の食文化を見渡して、米文化と麦文化の違いを検討し、アジアのなかでの和食の特質を捉えます。また米については、縄文から弥生への社会変化にどのような役割を果たしたのかを考えるとともに、古代国家が肉食を否定したことの意義と、このことが和食の形成にどのように影響したかを学びます。さらに古代における日本食の原型を押さえた上で、神饌料理・大饗料理の特質を知り、和食の原型となる本膳料理がどのように成立したのかを考えるとともに、それが懐石料理としてどのような展開を遂げたかを検討します。

②米と和食の文化史(第2講)

第1講の展開をうけて、米と和食が最も広まった近世という時代の社会的特質、つまり生産力の向上、商品流通の展開、それを支えたインフラの整備という問題を押さえた上で、和食の発展を支えた三つの要因を考えます。

まず料理屋との発展と会席料理、料理本を通じた料理技術・知識の普及、調味料の大量生産という事情を具体的に検討します。そして近代の開国と西洋料理との関係のなかで、和食がどのような展開を遂げ、米の生産がどのように発達したのかにも注目します。さらに戦前・戦後における食文化の変容にも留意しつつ、現在における和食の位置と今後の展望にも論及します。

留意点：日本における米と和食の特質を、その歴史的背景を考えつつ理解することが重要であります。

参考文献

- ・原田信男『和食とはなにか』(角川ソフィア文庫)、
- ・原田信男『歴史のなかの米と肉』(平凡社ライブラリー)、
- ・原田信男『江戸の料理史』(中公新書)、『江戸の食生活』(岩波現代文庫)など
- ・森下典子『日々是好日』(新潮文庫)

講師紹介

原田 信男	<p>1949年栃木県宇都宮市生まれ。明治大学文学部卒業。明治大学大学院博士後期課程退学、博士(史学)。</p> <p>現職：国士舘大学名誉教授・京都府立大学客員教授</p> <p>専攻：日本文化論・日本生活文化史</p> <p>ウィーン大学日本学研究所客員教授、国際日本文化研究センター客員教授、放送大学客員教授を歴任。著書に、『和食と日本文化』(小学館)、『江戸の食生活』(岩波書店)、『江戸の料理史』(中公新書)、『コメを選んだ日本の歴史』(文春新書)、『中世の村のかたちと暮らし』(角川選書)、『義経伝説と為朝伝説』(岩波新書)など多数。『江戸の料理史』中公新書でサントリー学芸賞、『歴史のなかの米と肉』平凡社選書で小泉八雲賞受賞。</p>
伊藤映子	<p>英語全国通訳案内士。NPO日本文化体験交流塾(IJCEE)理事。茶道表千家講師(伊藤宗映)。日本ソムリエ協会認定ソムリエ。日本文化体験講師。</p> <p>2020年観光庁研修指導員。</p> <p>外国人への茶道、着物着付け、料理、折り紙、風呂敷、和菓子作り講師として活動中。アメリカ大使館、昭和女子大学、埼玉大学の英語茶道・着物体験講師等実績多数。筑波技術研究所、東京都、埼玉県、奈良県、和歌山県等で豊富な講師経験を持つ。</p> <p>日本で、最も多くの富裕層を受け入れている外資系エージェントで、FIT対応においてトップレベルの評価を得ている。</p> <p>著作：ジャパニーズカルチャーⅠ、Ⅱ、Ⅲ(NPO日本文化体験交流塾)</p>



第7日 3月24日(水)「日本建築の歴史」

	時間	担当	内容
1限	9:15～10:45	波多野純	① 日本建築の歴史 宗教建築—海外の影響と日本の独自性—
2限	11:00～12:30	波多野純	② 日本建築の歴史 住宅—支配層と庶民の住まい—
	昼食休憩		
3限	13:30～15:00	波多野純	③ 日本建築の歴史 歴史的建築の保存・修復にみる日本と西欧
4限	15:15～16:45	海口晴彦	質疑及び意見交換会 ・自主研究課題の検討

<講義要旨>

日本建築は、西欧建築を理解する人々にとってきわめて異質な存在です。線材（柱・梁）による骨組み（木造軸組）を壁や建具でふさぐ構法は、石や煉瓦を積んだ壁に穴を穿ち出入り口や窓を作る構法と、組み立て方の発想が正反対です。

① 日本建築の歴史「宗教建築—海外の影響と日本の独自性—」

法隆寺から大浦天主堂まで。仏教とともに伝来した中国・朝鮮半島の建築を換骨奪胎し、いかに独自性を獲得したか、さらに精緻な設計技術について、時代背景を踏まえて話します。

② 日本建築の歴史「住宅—支配層と庶民の住まい—」

靴を脱ぐ文化の特殊性にはじまり、一室空間を使い分けた寝殿造、格式表現を確立する書院造、自由な展開をみせる数寄屋建築など支配層の住宅について、町家や農家など庶民の住宅との対比を通して、理解を深めます。

③ 日本建築の歴史「歴史的建築の保存・修復にみる日本と西欧」

数百年ごとの修理工事によって千年を超える建築が維持され、技術が伝承された日本建築と、廃墟の美を尊ぶ西欧建築を対比し、世界遺産の思想を検証します。

課題図書・参考文献

- ・太田博太郎『日本建築史序説』
- ・日本建築学会『日本建築史図集』
- ・西和夫・穂積和夫『日本建築のかたち』

講師紹介

波多野純	<p>日本工業大学名誉教授(元学長)、波多野純建築設計室代表。 1946年、神奈川県生まれ。東京工業大学理工学部卒業。工学博士。 1970年～2017年、日本工業大学に勤務し、2011年～15年、同大学学長。 1998年、「ネパールにおける仏教僧院の修復をとおしての国際協力」で日本建築学会賞業績賞（共同）。同年『江戸城Ⅱ<侍屋敷>』で建築史学会賞。</p> <p>専門は建築史。国内ばかりでなく、ネパール、台湾、カナダで歴史的建築や町並みの保存・修復・復原設計に取り組む。足利学校、長崎出島オランダ商館、佐賀城本丸御殿、福岡城下之橋大手門、旧粕谷家住宅（東京）、仏教僧院イ・バハ・バヒ（ネパール）などの保存修復・復原プロジェクト、「中世東国武士の館」「江戸橋広小路」（国立歴史民俗博物館）、「両国橋西詰広小路」「日本橋（原寸）」（江戸東京博物館）など復原模型の設計に携わる。</p> <p>著書『復原・江戸の町』、『The Royal Buildings & Buddhist Monasteries of Nepal』（共著）、『埼玉県の近代和風建築』（共著）など多数。</p>
海口晴彦	<p>True Japan Tour 株式会社上席研究員 技術士（都市及び地方計画） 都市計画・観光まちづくりのコンサルタント業務の傍ら、2007年から通訳案内士団体である NPO 法人日本文化体験交流塾の理事を勤め、2016年度より TJT の上席研究員として国際観光支援業務に従事。 2018年度から東京都府中市の観光コーディネーターに着任。 2019年度から鎌ヶ谷市都市計画審議委員の副委員長に着任。</p>

第8日、第9日 プレミア・ガイドにふさわしいパフォーマンスを身につける研修

(1) 4月22日(木)、23日(金)


(2) 企画

GICSS 研究会が主となって、以下の研修を実施

(3) カリキュラム (予定時間は一部調整中) .

講義内容	時間	講師予定	分類
スキル全体概要と観光業界のビジネスセンス わかりやすい話術のポイント	120分	ランデル洋子	観光ビジネススキル
顧客のニーズを把握する力	45分	石田恵 (ストリングスホテルコンシェルジュ)	顧客ニーズの把握
VIP客の求めるガイド像 (英語での講義)	60分	Geraint Holt (THE J TEAM 株式会社代表取締役)	
ガイドに求められる服装・身だしなみ	90-120分	三好凜佳 (株式会社レアリゼスタイル代表取締役)	パフォーマンス表現・対応力
身のこなし、動作、マナー、話し方	120-50分	大川まり子他 (合同会社レイヤーズ)	
国際儀礼プロトコールの基本	100-120分	寺西千代子 (元外務省儀典官、日本マナー・プロトコール協会理事)	
外交視点からみた接遇の心得	60分	角 茂樹 (元国連大使、駐ウクライナ特命全権大使他を経て、現在玉川大学教授)	
ガイド業務に望ましいヘア・メイク	120-150分	橋本ワコ (waco styling)	
男性ガイド向けヘア・スキンケア	60分	(別室にて女性向けと同時進行) 調整中 (仮)	
楽しさ演出・エンタテイメント側面	60分	松岡明子、ランデル洋子 (調整中)	



(4) 講師紹介.


分野	氏名	概要
観光ビジネススキル	ランデル洋子	<p>株式会社ランデルズ代表取締役/NPO 法人 GICSS 研究会理事長 & シニア研究員</p> <p>異文化情報学博士/全国通訳案内士</p> <p>南山大学卒業。在学中に北イリノイ大学に留学、大学卒業年に通訳案内士資格を取得。英語講師、通訳ガイド、海外旅行ツアーコンダクター、アメリカ駐在業務、ビジネス通訳などを経て、1982年よりバイリンガル人材派遣事業、アラスカツアーオペレーター事業、通訳ガイド実務研修事業に携わる。1999年ガイド組織 GICSS 研究会を設立し、通訳ガイド学構築を目指すべく2003年、オランダ IOU 大学で異文化情報学博士号を取得。</p> <p>幅広い現場体験と学術的な側面から、適確な指導で優秀な通訳ガイドを多数育成した実績がある。</p> <p>2005年愛知万博では日本政府館の国賓接遇スタッフのトレーニング講師、観光庁専門性研修講師、企業研修その他幅広い視点とノウハウを通訳ガイドの育成・指導に生かしている。著書「英語を使って仕事がしたい」「外国からの客を迎える英会話」「通訳ガイドがゆく」など11冊。観光庁の通訳ガイド制度みなおし検討会他の委員を務めた。</p> 
	石田 恵 (調整中)	<p>ストリングスホテル東京インターコンチネンタル コンシェルジュ。香港他、海外の一流ホテルでの勤務実績も豊かである。全国通訳案内士の資格保有。</p>
顧客ニーズの把握	Geraint Holt	<p>THE J TEAM 株式会社代表取締役/一般社団法人日本海外ツアーオペレーター協会インバウンド委員長/JICA 国際観光マーケティングセミナー講師/東京観光財団・MICE グローバル人材育成講座講師</p> <p>英国出身。ケンブリッジ大学、ペンブローックカレッジ、日本学科卒業 (M. A. Cantab)。クオニイ・トラベル (ロンドン)、クオニイ・ジャパン株式会社 (東京)、メデツアーズ株式会社 (東京)、を経て現在。レールヨーロッパジャパン会長、ビジットジャパンキャンペーンアドバイザー(英国)、観光庁・“訪日外</p>

		<p>国人旅行者 2000 万人を見据えた貸切バスの安全かつ安定的な運行に関する意見交換会” 意見交換会メンバー、京都市 MICE 会議有識者、JTA 海外のインセンティブ旅行誘致に関する支援事業有識者などを務めた。</p>
<p>パフォーマンス表現・対応力</p>	<p>三好凛佳</p>	<p>パーソナルファッション®スタイリスト (パーソナルスタイリスト) スーツスタイリスト 国際イメージコンサルタント協会認定イメージコンサルタント</p> <p>関西女子美術短期大学 (現・宝塚造形芸術大学) デザイン美術科ファッションデザイン専攻科卒業。17 年間アパレル企業に勤務し、ファッションデザイナーウィンドウプレイヤー、店舗主任などのキャリアを積む。デザイナーとしては入社試験に持ち込んだデザイン画がきっかけで、その場で採用。商品化され、年末の歌謡番組で歌手が着用し、歌唱賞を受賞。</p> <p>2000 年 (財) 生涯学習開発財団認定コーチ資格取得。アパレル企業に勤めながらコーチ活動を開始する。</p> <p>2002 年パーソナルファッション®を専門にスタイリストサービスを提供する「レアリゼ」を開業。2006 年『男の外見 (ヴィジュアル) コーチング』を PHP 研究所より出版。その後文庫化され累計 2 万部となる。</p> <p>2007 年国際イメージコンサルタント協会 (AICI) 国際ライセンス FLC 資格取得。2008 年 12 月「株式会社レアリゼスタイル」代表取締役役に就任。個人個人の成功や人生が豊かになるためのファッションをサポートするパーソナルファッション®の専門家。日本にカラー診断のコンサルティングしかなかった時代に、コーチングでその人が持つ魅力や能力などの内面性のイメージを引き出し、ファッションアドバイスやコーディネートで外見に表現する具体的なファッション提案に特化した個人向けスタイリストサービスを確立する。ファッションを通じて、様々な人の Quality of life の向上をサポートし、社会に貢献することを目指している。</p>



パフォーマンス表現・対応力	大川まりこ 他	<p>合同会社レイヤーズ パーソナルカラー認定講師/マナープロトコール/メンタルケアカウンセラー/キッズアンガーマネージメント講師</p> <p>大学卒業後、通信会社の役員秘書として勤務。その後、日本航空株式会社に既卒入社。国際線（ファーストクラス・ビジネスクラス）・国内線を乗務の傍ら、リサーチ業務も担う。接客業を体系的に学び、イメージコンサルタント（第一印象分析）の資格を取得。2010年よりパーソナルスタイリスト、イメージコンサルタント、マナー講師として数多くの企業研修、パーソナルコンサルティングを行う。色の知識、カラー分析、第一印象分析を強みとし、ファッション関係、企業役員をはじめ、海外ハイブランド、医療、金融、学校、美容関係等、顧客は多岐に渡る。2019年、日本航空株式会社に客室乗務員として復職。現在は講師業とCA業務を兼務。</p>	  
	寺西千代子	<p>元外務省儀典官/日本マナー・プロトコール協会理事</p> <p>津田塾大学卒業、同年に外務省入省。外務省儀典官室に10年あまり在籍し、国賓・公賓の訪日接遇を担当する。米国、英国、イタリア、カナダ、フィンランド、国連代表部、バチカンなどの在外公館勤務を経た。外務省を定年退職後は、外務省研修所その他で講義を行なっている。著書に「世界に通用する公式マナープロトコールとは何か」（文春新書）他</p>	
	角 茂樹	<p>玉川大学客員教授</p> <p>977年に一橋大学商学部を卒業し外務省入省。1980年オックスフォード大学卒業。外務省国連PKO室長、国際連合日本政府代表部一等書記官、駐タイ公使等を経て、外務省国際社会協力部参事官として、ニューヨーク市の国際連合本部ビルで開かれた障害者権利条約起草に関する作業部会に日本の首席代表として参加し、障害者権利条約締結に向けた調整を行った。</p>	

		<p>1977 年に一橋大学商学部を卒業し外務省入省。1980 年オックスフォード大学卒業。外務省国連 PKO 室長、国際連合日本政府代表部一等書記官、駐タイ公使等を経て、外務省国際社会協力部参事官として、ニューヨーク市の国際連合本部ビルで開かれた障害者権利条約起草に関する作業部会に日本の首席代表として参加し、障害者権利条約締結に向けた調整を行った。また世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）の理事も務めた。ウィーン国際機関日本政府代表部大使を経て、2008 年から国連大使、2011 年から駐バーレーン特命全権大使、2014 年から駐ウクライナ特命全権大使。日・ウクライナ投資協定の署名などを行った。ウクライナ大使在任中に、5 つの勲章を受章。数多久遠著『北方領土秘録』の隅繁彰大使のモデルとされる。</p>	
<p>パフォーマンス表現・対応力</p>	<p>橋本ワコ</p>	<p>waco styling 代表/パーソナルスタイリスト&メイクアップ・アドバイザー/一般社団法人日本スポーツビューティ協会代表理事</p> <p>一部上場企業の役員秘書として実績を重ね、トップクラスのビジネスパーソンたちが輝く姿に数多く触れる中、人を輝かせる技術・理論をもっと追及したい、と発起。ファッション、メイクを軸に、専門技術を独自の視点で活かした「トータルで人を輝かせるスタイリング」を追求している。</p>	
<p>観光ビジネススキル</p>	<p>(調整中)</p> <p>松岡明子</p>	<p>ヘア・スキンケア（男性向け）</p> <p>NPO 法人 GICSS 研究会副理事長/全国通訳案内士</p> <p>東京およびロンドンにて丸紅勤務の後、アメリカカリフォルニア州カーメルにてホテル勤務。その後通訳案内士として約 40 年。あらゆる現場をこなし、特にインセンティブツアーや、各国の VIP 対応に実力を発揮してきた。1993 年より若手の新人ガイドの育成研修講師としても従事し、GICSS 研究会創立以来、副理事長を務める。</p>	

		<p>新人ガイド実務研修その他の研修を担当し、評価委員やガイド技術検定の試験官・勉強会リーダーを務める。著書に「通訳ガイドがナビする東京歩き」IBC パブリッシング出版がある。明るく優しい人柄と相まって、日本のトップレベルガイドの一人としての指導力にも定評がある。</p>	
--	--	--	---

第 10 日、11 日、12 日. プレミア・ガイド・メンバー」(PGM)プレゼンテーション演習

(1) 日時・場所

2021 年 8 月 17 日(火)から 19 日(木) 機械振興会館

(2) 研究課題の設定

①富裕層をガイドするあたり、直面するプレゼンテーションを模擬的に実施します。

- ・研修生の自主性を尊重するため、研修生自身が自らテーマを設定する。

② プレミア・ガイド・メンバー」(PGM)がそれぞれ 1 つの研究課題を持つ。

- ・各自 10 分の英語によるプレゼンテーション
- ・10 分間の質疑(日本語)

(3) テーマの選び方

①日本の宗教、②舞台芸術、③美術・工芸、④産業・社会家庭・暮らし、⑤日本の歴史、⑥米と和食の文化史、⑦日本建築の歴史に関連したテーマに加え、

⑧あなたがお連れしたいと思う地域のご案内

(4) プレゼンテーションの方法

- ・ 8 つのテーマで示唆された課題について、お客様に対する気持ちで説明。受講生が自ら選ぶ、外国人に魅力の観光スポットを英語で紹介する。
- ・ 金閣寺、清水寺など、だれもが知っている観光地でなく、有名でない観光地であっても、行きたくなるようなプレゼンテーション。著名な固有名詞や名所旧跡に依存しない、かつ日本の魅力を発信する。

例

- ・ 山川湖滝などの日本の風景のなかから、外国人に紹介するプレゼンテーション
- ・ 寿司・ラーメン・日本酒などの料理もテーマの一つ
- ・ 工場見学や最先端のスタジオ施設、体験施設も可
- ・ 神話や逸話なども使用可

(5) パフォーマンス

- ・ 富裕層を顧客としたお客様に対する、プレゼンテーションに向かう姿勢、歩き方、服装、発声、ジョークやウィットすべてが評価の対象となる。
- ・ 8 枚内の写真(シート)を使用して、説明することができる。

(6) 質疑

プレゼンテーションに対する適切な質問も大事です。

(7) 評価

- ・受講者全員がプレゼンテーションや質疑を評価する。
- ・プレゼンテーションの評価に当たり、有名観光地ではないが、富裕層が訪問したくなるようなプレゼンテーションを高く評価する。
- ・外国人からよく問われる質問で回答の難しいテーマを適切に回答するプレゼンテーションを高く評価する。
- ・宗教のように、説明が難しい課題をわかりやすく説明するプレゼンテーションを高く評価する。
- ・ジョークやウィットの入ったプレゼンテーションを高く評価する。
- ・適切な質問も加点要素とする。

参考 本研修に寄せられた意見

① 例えば、ガイドの現場で良くある質問、「日本人は神を信じないのですか？」

「真珠湾攻撃をどう思いますか？」などの質問にわかりやすく説明するなど、難問をみんなで解決するという考え方も、大切です。

② 課題例に対する回答

以下の課題に対する、正解は一つではありません。ガイド自身の個性を生かした対応力が求められます。

また、多様な解決策を相互に交換することで、一人ひとりの研修生の対応力が高まることでしょう。

こうした対応力をコーディネーターによるアドバイスや、演習参加者による助言などでより良いものに高めていくことが、本演習の目的です。

③ 演習の考え方

単に教科書的な知識や学説を紹介するものではありません。ハイ・インテリジェンスの顧客が投げる、自分たちが予定しているストライクゾーン外のボール(質問や関心)にも対応できる幅広い知識や編集力を問うものです。

第 13 日、第 14 日 認定試験・プレミア・ガイド・メンバー」(PGM)交流会

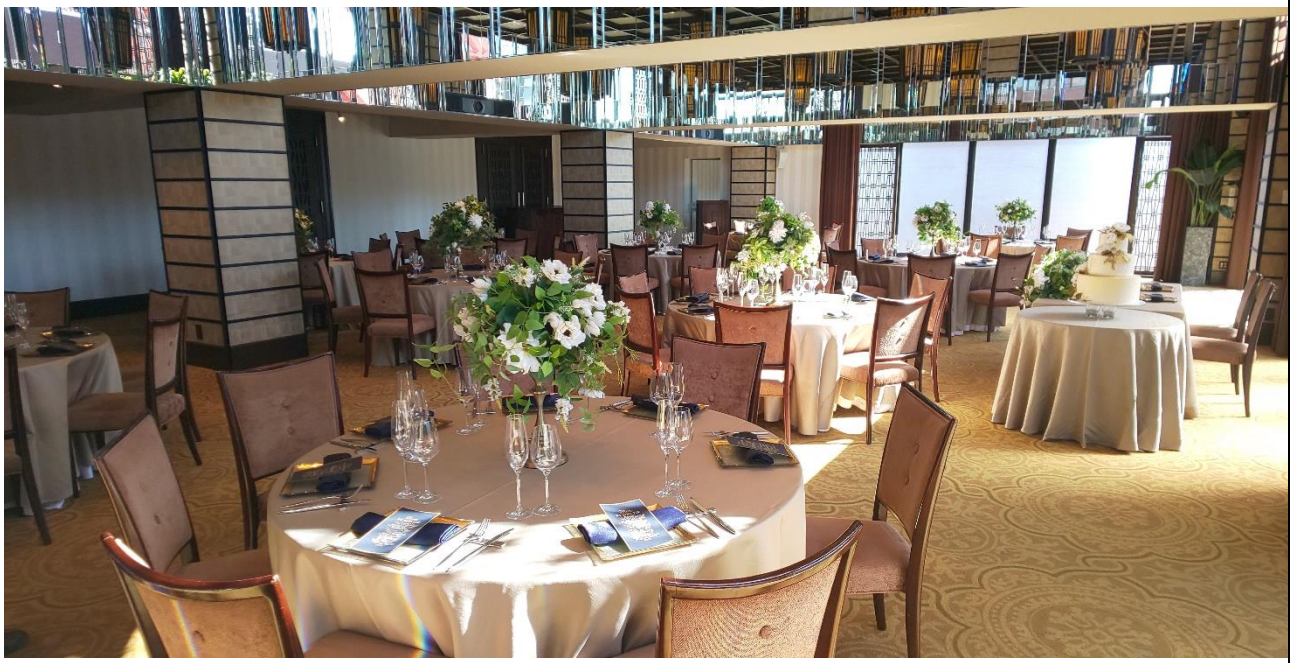
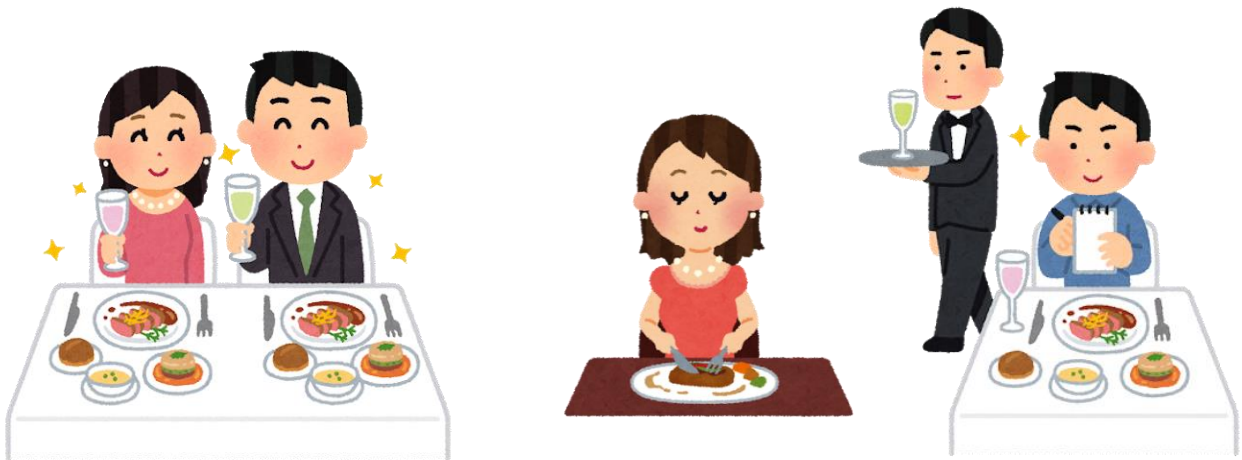
2022 年 2 月を目途に以下の項目について、認定試験を実施する。以下の 3 項目の試験による総合点で競います。

試験項目		説	明
中間審査	プレゼンテーション力審査	第 10 日～12 日で実施したプレゼンテーション演習における相互評価	
最終審査	① 知識力審査 2 月 13 日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7 つの専門分野における試験 ・ 外国人の質問に対して、どのように回答するか ・ 英語等による回答 ・ 3 時間半程度の試験時間 	
	② 総合審査 2 月 14 日(月) 会場は、レストラン Terrace Dining TANGO (テラスダイニング・タンゴ) コース料理やワインセレクション等を体験していただきます。	<p>プレミア・ガイド・メンバー」(PGM)交流会を兼ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査は、評価委員のホテルや事務所、自宅等からの自動車による送迎から、昼食のアテンドなどリアルな状況における模擬演習とする。 ・ 車窓ガイド、レストランでの対応等総合力が試される。 ・ 着席 ・ VIP などの顧客の満足度を得るパフォーマンス ・ 評価委員としては、通訳案内士のほか、講師の方々、主要旅行会社、コンシェルジュ、元大使・公使、日本の企業の取締役等を予定している。 	

Terrace Dining TANGO <http://www.tango-tpt.com/>

見上げれば東京タワー、目の前には美しい一皿が並ぶプレミア空間

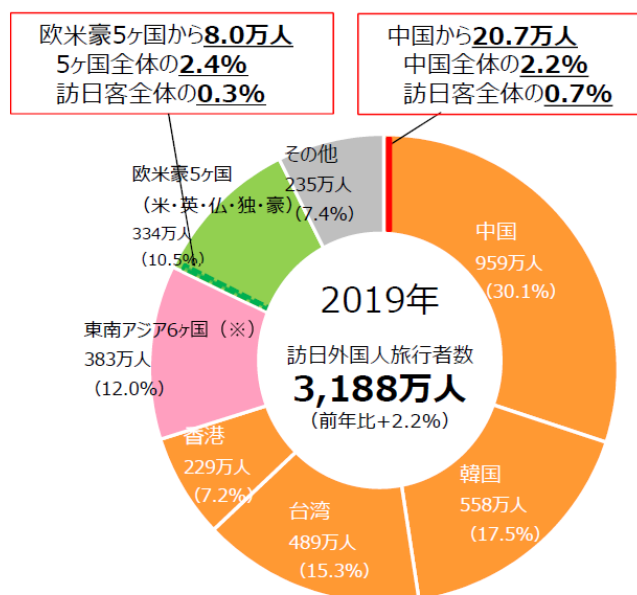
「Terrace Dining TANGO」は、日本の文化である“おもてなし”を、まるで異国に足を踏み入れたような個性的なダイニング。心の安らぎを感じるガーデンテラス、世界の様々な食材を使った「World Ocean Grill」によって表現します。誰も見たことがない唯一無二のレストランが、東京タワーのふもとで新しい歴史を刻み始めます。(一休より)



良質なインバウンド観光サービス創出に向けた観光戦略検討委員会

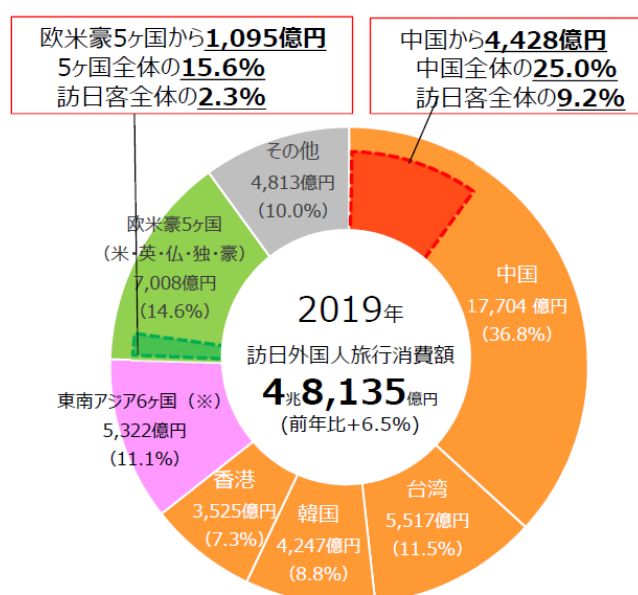
観光庁ホームページにて、2020年10月22日に発表された「上質なインバウンド観光サービス創出に向けた観光戦略検討委員会」の資料2「訪日外国人旅行消費の増加に向けて」（観光戦略課）によると、「富裕旅行者は、欧米豪5か国と中国だけでも、全体の1.0%の旅行者で消費全体の11.5%を占める。」と報告されている。

訪日した富裕旅行者数



※東南アジア6ヶ国は、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、シンガポール、インドネシア

富裕旅行者の消費額



2

つまり、富裕旅行者の割合を1ポイント拡大すれば、消費額は10ポイント以上の拡大が見込まれ、この富裕層への取組がおおいに重要であることが判る。

金額規模は、欧米豪5か国で約1100億円、中国で約4400億円、合計約5500億円となっており、コンテンツやガイドの充実により、さらなる拡大も見込める。

また、本委員会の議事録によると以下のような発言が掲載されています。

◆「課題に挙げられていないのは、面を作ることができていないこと。宿泊施設は大事だが、この状況下で進めるのは厳しい。それをカバーできるのはヒト。観光産業以外の人も含めて面を作っていくことをしないとどんな強みも活かさない。DMOに限らず地域のリーダーを

作り育てていく。そのために企業に人材育成の必要性を理解していただく必要もある。規制緩和も必要かもしれない。」

◆「富裕層向けのサービスに慣れていないところを鍛えていく必要がある。富裕層の知的好奇心・探求心に応えられるような、幅広い分野で高い専門性を備えて説明できる人、本人が伝えられなくても翻訳して伝えていく人材が必要。海外にアクセスできない魅力ある産業の人にも注力しうまくマッチングできたらよいのではないか。」

◆「日本における富裕層の取組の歴史は浅い。オーストラリアは 10 年前に次の世界を作るようなビジネスエリートに来てほしいと言っていた。日本でも、富裕層向けコンテンツを多く仕込んでストックしておく必要がある。5つ星ホテルができて、地域とつながりが薄く地域としてのサービスレベルが合わないということは実際起きている。地域として取り組むことが大事だ。また、ガイド育成方法は変えていくべき。」

◆「語学だけでなく、教養があり、相手の教養レベルを汲んで組み立てられるガイドが必要。多様な方を育てる仕組みが必要。最後に、富裕層に来てもらいたいのであれば予約を確実にすることは必須である。」

「実行チームについて、宿泊施設を整備することと同列ですべきは人材育成。情報発信、人事インフラの整備、コンテンツの磨き上げをすべて同時に進めていくことが必要。日本は良質なものを安価に提供するのが得意だが、富裕層が日本に来てもお金の使い道がないのによく言われる。付加価値をつけるブランディングを同時に進めていくべき。」

以上のように、本検討会の多くの委員が人材育成の必要性を訴えている。